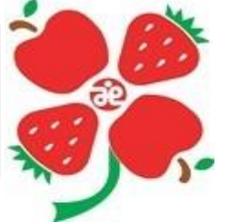




# 四つ葉のクローバー新聞



～心をひとつに～ 2015年7月号（第40号）

「四つ葉のクローバー新聞～心をひとつに！～」をお届けします。

この新聞では、山元町や地域包括支援センターをはじめ、山元町社会福祉協議会「やまもと復興応援センター」の復興応援活動、そのほか様々な情報をお伝えしています。

## 心をひとつに！『やまもと復興応援センター』

平成27年6月6日（日）ボランティア通信  
朝からパラパラと小雨の降る、少し肌寒い日でしたが、そんな天候を吹き飛ばしてくれる熱い思いを秘めたボランティアさんたちが、山元町を訪れてくれました。

本日の活動は、役目を終えたイチゴの苗を抜く作業です。



### ・・防災士ひとことコラム・・【受援力②～じゅえんりょく～】

前は『受援力』という言葉を紹介しました。今回はその『受援力』の高め方についてお話ししたいと思います。高めるといっても、実はそう難しいことではありません。

『受援力を高める』=『外部から支援に来てくれたボランティアの力を活かせるかどうか』は普段の生活の中で、どこまで地域の力を掘り起こしておいたか、で決まるのです。

では、どうやって地域の力を掘り起こすのか？

- ①地域の情報の整理（地域の危険個所のチェック・そのマップ作り）
- ②地域内でお互いに顔見知りになっておくこと。
- ③ボランティアとはどんな活動をする人たちなのかを知ること。



なのです。普段から、災害時にお手伝いをしてもらえる相手が誰かを把握しておくことがとても大切です。（たとえば、地域の市町村役場・社会福祉協議会・自治会・町内会・民生委員、児童委員など）まずは身近なこと（顔を知ること）から、始めてみましょう！

## 引越しの際に・・・

復興住宅の入居が進み、仮設住宅を退去する方が増えています。退去する際に粗大ゴミ等を仮設住宅のゴミ集積所に置いていく方やペットを仮設住宅へ置き去りにする方がいました。

**ゴミの不法投棄・動物の遺棄は犯罪です。**不法投棄した場合、5年以下の懲役又は1000万円以下の罰金、動物を遺棄した場合、100万円以下の罰金と厳しい罰則が設けられています。

ルールを守り、気持ちよく引越ししましょう。

## カギかけましたか？

仮設住宅の空き部屋が目立つようになりました。入居者が減り、空き巣のターゲットになる可能性があります。戸締りやカギの管理をしっかりとしましょう。お問い合わせ

被災者支援室 Tel 29-8003



# 平成27年度 山元町健康相談会【7月】

浅生原東田(北)	7月 7日(火)	ナガワ仙台工場	7月15日(水)
浅生原箱根	7月24日(金)	高瀬西石山原	7月29日(水)
中山熊野堂	8月 6日(木)		

場所：各仮設住宅集会所 時間：10:00～12:00  
お問い合わせ 地域包括支援センター Tel 37-3901

四つ葉のクローバー新聞 2015年7月号(通算第40号) 2015年7月1日発行  
発行:山元町 編集:やまもと復興応援センター

☆山元町被災者支援室 電話 0223-29-8003 <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

☆やまもと復興応援センター(山元町社会福祉協議会) 電話 & FAX 0223-35-6223